

平和館特別展 「天然色で見る広島・長崎と80年後の世界」を開催します

川崎市平和館では、広く市民に戦争の悲惨さを伝えるとともに、平和に対する理解を深めることを目的に、終戦の日（8月15日）の前後を期間として、特別展を毎年開催しています。

戦後80年という節目の年である本年は、東京大学大学院の渡邊英徳研究室がカラー化した広島・長崎の写真展示を中心として、ともすればモノクロの遠い昔の風景として捉えがちなヒバクの記憶を、来館者が自分事として感じる一助となる企画展示を開催します。

1 特別展 天然色で見る広島・長崎と80年後の世界

- (1) 期 間 令和7年7月26日（土）～8月24日（日）9時から17時まで
- (2) 休 館 日 毎週月曜日、8月12日（火）、8月19日（火）※ただし、8月11日（月）は開館
- (3) 会 場 川崎市平和館 屋内広場（川崎市中原区木月住吉町33-1） ※入場無料
- (4) 内 容 カラー化された広島・長崎の原爆写真、高校生と被爆者との共同制作による「原爆の絵」、核実験の歴史、現在の核兵器の分布、核軍拡・軍縮年表、核兵器禁止条約の解説などをパネル展示（約60枚）。また、展示や解説に関するクイズも実施します。

2 関連イベント（上映会）

期間中、幅広い年齢層に核兵器の悲惨さを考えてもらえる上映会を2回開催

- (1) 開催日時 8月 2日（土）「風が吹くとき」 14:00～（85分）
8月16日（土）「ヒロシマナガサキ」 14:00～（86分）
- (2) 開催場所 川崎市平和館1F 屋内広場
- (3) 募集人数 事前申込制（先着40名）市HP、電話、FAXで

3 主 催 川崎市

4 協 力 東京大学大学院渡邊英徳研究室、広島平和記念資料館、公益財団法人広島平和文化センター、長崎原爆資料館、日本非核宣言自治体協議会

5 アクセス JR南武線、JR横須賀線、東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」、東急東横線・目黒線「元住吉駅」から徒歩約10分

6 その他のイベントについて

(1) へいわアニメ上映会のお知らせ

小学生を対象に空襲や原爆などの戦争をテーマとしたアニメーション映画を上映します。

ア 開催日時 8月6日（水）、9日（土）11:00～12:00、13:00～15:00

イ 開催場所 川崎市平和館1F 第1、2会議室

ウ 募集人数 9歳以上30人（当日先着順）

(2) 平和館見学ツアーの開催

終戦記念日に館内見学を行います。

ア 開催日時 8月15日(金) 13時15分～14時15分

イ 募集人数 事前申込制 9歳以上20人(先着順) 7月16日(水)から市HP、電話、FAXで

(3) 本庁舎ライトアップ

市役所本庁舎をSDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」を表すシンボルカラーであるブルーにライトアップします。

ア 開催日時 令和7年8月15日(金) 日没(18時31分頃)～22時

イ 開催場所 川崎市役所本庁舎(川崎市宮本町1番地)

ウ 内 容 戦後80年の節目の年であり、戦没者の追悼と平和を祈念しライトアップを実施

7 申込先

(1) 上映会「風が吹くとき」「ヒロシマナガサキ」HP

<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000177562.html>



(2) 平和館見学ツアーHP

<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000177439.html>



(3) 電話 : 044-433-0171 FAX : 044-433-0232

問合せ先

川崎市市民文化局平和館 亀山

電話 044-433-0171

令和7年度 川崎市平和館 原爆展

天然色で見る広島・長崎と 80年後の世界



呉市の吉浦町（現：若葉町）の海軍工廠砲弾実験部からみた広島原爆のきのこ雲
【撮影者：尾木正己】 【写真カラー化：渡邊英徳（東京大学大学院）】

令和7年7月26日(土)～8月24日(日)

川崎市平和館 1階屋内広場

午前9時～午後5時

(休館日：7月28日、8月4日・12日・18日・19日)

【主催】川崎市平和館

【協力】東京大学大学院 渡邊英徳研究室、広島平和記念資料館、公益財団法人
広島平和文化センター、長崎原爆資料館、日本非核宣言自治体協議会

入場無料



1945(昭和20)年8月6日と8月9日は、多くの人々に記憶されている日でしょう。8月6日は、アメリカの爆撃機「エノラ・ゲイ」が広島に原爆を投下した日、8月9日はアメリカの爆撃機「ボックスカー」が長崎に原爆を投下した日です。人類史上最初で、今のところ最後となっている、核兵器の実戦での使用は、忘れてはならない私たちの記憶となっています。そんな私たちの記憶の風景はモノクロです。記憶は教科書や新聞、テレビなどのモノクロ写真や動画により形作られるからです。

戦後80年の節目の年に開催する特別展では、東京大学大学院の渡邊英徳研究室のご助力により、私たちが日常的に見ている風景と近い、カラー化された広島・長崎の写真を展示します。天然色の広島・長崎は、ともすればモノクロの遠い昔の風景として捉えがちなヒバクの記憶を、より私たち事として感じさせてくれます。

天然色の広島・長崎の写真に加え、現在の核兵器の概況、核軍縮の進捗のパネル展示も行います。ぜひ、ご覧になり、核兵器のない未来を共に考えませんか。

特別展関連イベント 上映会1

風が吹くとき

When the Wind Blows

監督 ジミー・テルアキ・ムラカミ
原作・脚本 レイモンド・ブリッグズ

平凡な生活をおくるイギリスの老夫婦が、核戦争に翻弄され、放射線被害と食料・水不足で衰弱していく様を描く、アニメーション作品。

上映日: 8月2日(土) 14:00~(85分)

上映会場: 川崎市平和館1階屋内広場

要申込(先着40名様)

右の二次元コード、または川崎市平和館HPのフォーム、お電話(044-433-0171)、またはFAX(044-433-0232)でお申し込みください。



無料



©MCMLXXXVI

特別展関連イベント 上映会2

ヒロシマナガサキ

White Light, Black Rain: The destruction of Hiroshima and Nagasaki

監督・製作: スティーヴン・オカザキ

25年にわたる、ヒバクシャと原爆投下に携わったアメリカ人へのインタビューで構成された、ドキュメンタリー映画

上映日: 8月16日(土) 14:00~(86分)

上映会場: 川崎市平和館1階屋内広場

要申込(先着40名様)

右の二次元コード、または川崎市平和館HPのフォーム、お電話(044-433-0171)、またはFAX(044-433-0232)でお申し込みください。



無料



©2007 Home Box Office, Inc.